

## 浅田 二郎 議員

### 急いで避難施設建設を

**問** 平成24年度中には、避難困難地区13カ所のうち1カ所も避難施設の建設がない。予算を増やし急ぐべきでは。

**答** 最も危険度、優先度の高い湊、中新田地区から早急に整備を進めていきたい。来年度予算では総事業費2億9000万円を計上し、その財源として県補助金が2000万円、起債が2億5000万円となっている。協議を進める中で実現の見通しがついたものは、補正で予算措置し、早く対応していきたい。

**問** 太田川しゅんせつ土による「人工の山」建設は、構造、面積、位置、土地利用など問題はないか。

**答** 土質改良、住宅立地状況や環境、さらには農地法上の制約もあり、地域と一緒に協賛を進めていきたい。



避難タワー設置予定箇所（浅羽南幼稚園南）

### 肺炎球菌ワクチン接種に 公費助成を

**問** 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種率を高めるため、県内半数以上の自治体で実施している公費助成を行うべきでは。

**答** ワクチンの効果を考えると、より多くの高齢者の接種により、医療費の抑制にもつながる。国の助成や他市の状況を踏まえ、公費助成のあり方について検討していきたい。

## 高橋 美博 議員

### 子ども・子育て

### 新システムへの認識は

**問** 自治体の措置から保護者と施設との直接契約となり、自治体の保育実施義務がなくなるほか、株式会社参入などによる自由化で保育の格差が拡大したり、幼稚園と保育園を一元化し新設される「総合子ども園」も関係者の理解が得られないなど問題点が多い。市の認識はどうか。

**答** 関連法案を今国会に上程することになっているが、まだ詳細は明らかにされていない。今後、円滑な実施ができるよう、適切な情報の収集に努めていく。

**問** 本市の保育所待機児童数は県下上位にある。今後の見通しはどうか。

**答** 本年4月に、定員120人の「袋井あそび保育園」が開園し、大幅に減少すると見込んでいる。



平成24年度開園の「袋井あそび保育園」

**問** 「幼児教育振興プログラム」を策定し、民間保育所との連携を図ってきたが、同様の連携が図れるか。

**答** 生きる力の育成や安定した情緒の醸成など、保育の質の向上を目的に、全ての保育所の保育士対象の合同研修を実施している。また、保育所長連絡会や認可保育所主任連絡会も開催している。新システム移行後も、民間保育所との連携を図ってきたい。